

# 伊能図探究 第十二号

伊能日本図探究会 渡辺 一郎

## 伊能図見て歩き (五)

京都大学図書館蔵 伊能諸図

京都大学図書館は伊能図九舗を所蔵している。これは忠敬が土浦の内田家に謹呈した図を購入したものである。経緯が記されたつぎのような紙袋におさめられている。

(表側)

対州全図

老岐国図

四国淡州沿海地図

九州六箇国之内沿海地図

大隅国馭護郡屋久島沿海図

大隅国熊毛郡種子島沿海図

肥前国(平戸島、生属島、黒・大島、高島)沿海之図

同 五島沿海上下 二景之図

合計九葉在中

(裏面)

下総佐原伊能三郎右衛門忠敬従、

祖父佐左衛門義制分与ヲ受ケ我家ニ伝リ居、

今尚親戚伊能源六君拙宅ニ遊ビ、

此図ヲ相見、祖父忠敬之分間縮図ニシテ、大、中、小之三部之内、中絵図則是也ト確言ス、以テ内田家之秘図トシテ世ニ相伝フ可キ物トス

内田 順信 印

謹記ス

対州全図 縦二三二×横一〇一センチ

対馬部分の大図。折本。裏打なし。虫・傷なし。五七×四一センチの和紙を接合する。文字は達筆。村名、村界、郡界を黒の極細の文字で書いたあと、朱の大形文字で重ねて書く。

たぶん、試作したあと、字が小さいと、朱で書き直し、バランスをみたのであろう。朱の地名も達筆。地図面の左側に対州全図校合済と朱書きする。

大図なので経緯線、方位線はない。朱の測線は細い。針穴がみられる。緑は東博中図に近く濃い彩色。水色は淡い。平地はピンク色。砂浜、田畑、家並みなどを表現する。神社は記号ではなく○●神社と書く。鰐浦、佐須浦に朝鮮国渡海港と表示がある。

九州六箇国之内沿海図 縦一八六×横一四一センチ

九州第一次測量後の中図稿本。針穴あり。彩色は対馬図に同じ。文字は丁寧であるが、対州図よりやや粗か。経緯線、方位線なし。国名、郡名、および境界の表示なし。中図の合印は一つもない。方位円、接合記号なし。紙サイズ四一×五九センチ。

虫、傷はないが、汚れ少しあり。読図には支障がない。本図は、彩色、測線、地名、まで書いてから、地図仕立て方針が変わり、作業を中断した稿本ではなからうか。折本。裏打なし。

壹岐国図 縦八八×横八二センチ

壹岐島の大図。描画は精緻で、海岸の崖の実況、海浜の岩石、砂浜などを精細に写す。測線は崖うえ、中腹の通路、砂浜などに描きわける。彩色は濃い、緑色に黄味が少ない。全体的に対馬図より精密である。絵師の筆か。

地名は黒の達筆な細字のあと、朱の大形文字（達筆）で再度記入する。朱の村名には、校合の際につけたと思われる朱のチェック表示がある。本図は最終大図の試作品ではないか。折本。裏打なし。

方位線、経緯線、接合記号はない。方位円は記入されているが、彩色されていない。紙サイズ四一×二九センチ。

四国淡州六分下図 縦一三四×一七二センチ

四国、淡路の中図稿本である。測線と地名を黒で記す。あとは山地の黄緑、平地のピンクのみ。経緯線、方位線、合印はない。

虫、傷なく、文字は達筆。図中に霞がたなびくほか、左端に九州の遠望を描く。針穴あり。折本。裏打なし。

肥前国松浦郡平戸領 縦一六九×横一一九センチ

自 調川村大印 街道海辺を巡りて  
至 江迎村字白岩白印

折本。針穴あり。裏打なし。

平戸領を描く大図。平戸の松浦史料博物館所蔵の平戸図の下図か。

折本。針穴あり。裏打なし。

描図形式は壹岐に同じだが、海岸など精細度はやや劣る。緑は青味が強い。紙サイズ 縦二八×横四一センチ。

地名は、黒の中形文字で書かれたものを、達筆な朱の大形文字で追

加記入している。方位線、経緯線、接合記号なし。方位円は白のままで彩色なし。余白に海付図校合済の記入がある。

肥前五島沿海上下二景之図 上 縦一七二×横九五センチ

描図形式は壹岐図に同じ。大図稿本。小形の黒色文字で書かれた地名を朱の大形文字で再度記載する。校合のための朱のチェックあり。領主名を朱で大きく追加。裏打なし。

海岸の測線は崖下の砂浜をとおる。海は濃い水色。伊豆七島図のように島の内部もすべて描画彩色する。針穴あり。方位線、経緯線なし。接合記号もない。合印は淡のみ書かれ他はない。方位円一箇白抜きのみとする。紙サイズは三〇×八三センチ。

相嶋を描き、傍らに朱で「当嶋本図可省」と記す。

肥前五島沿海上下二景之図 下 縦一一七×一六一センチ

描図形式は上に同じ。島内全部を描画彩色する。

大隅国馱読郡屋久嶋沿海全図 縦七五×横一〇一センチ

濃い彩色。地名は朱で大きく記す。彩色が濃いので文字はよくわからない。海岸線は壹岐と同じ描図でリアル。経緯線、方位線、接合記号なし。中央に彩色の方位円がある。合印は湊のみ。用紙サイズは三八×二七センチ。

大隅国熊毛郡種ヶ島沿海図 縦一五七×横七八センチ

暗い緑色の山景の間にピンクで平地を描く。全体にくすんだ感じである。地名の朱書き追加は他の図に同じである。方位円には彩色があるが未完である。合印は、湊、神社がある。

須賀田家（茨城県鹿島市）蔵 特別地域図 天の橋立図

縦五八・五×横七八・五センチ

茨城県鹿島市（旧大野村）の須賀田家は、江戸時代はこのあたりの大庄屋であった。豪勢な門構え、式台つきの玄関に往事を偲ぶことができる。

同家には、伊能家五代目をついだ「伊能こう」さんの妹「りつ」さんが嫁いでいる。嫁入りのとき、持参した伊能図があるとお話なので、お願いして、藤岡健夫氏の案内で、拝見させていただくことができた。

須賀田家の伊能図は、文化四年提出の、天の橋立図の副本であった。丁寧な描画で濃い彩色の美麗なものである。宮津城、西国札所の成相寺、家並、田畑、橋立の砂州などが鮮やかである。（三一頁）

伊能家から出たことが明らかで、針穴があり、仕上げもよいので、副本と考えてよいものである。

彩色の緑は東京国立博物館の中図と同じ調子である。他の特別地域図と同じに、経緯線、方位線はない。方位を示す円は筋のみで彩色がない。ここだけは未完成のようである。

もと折本だったものを軸装してある。折本のころついた埃の跡が残っているのは大変残念である。